

時事新報

第三千百四十九號
明治廿四年十月二日
舊曆辛卯八月三十日

し若しも或る法律にして果して眞に有害ならば益々厳しく之を實行してふそ却て其有害の點を發見して速に之を廢止するの機もある可きに今日の如く陪審官の一人が其宣誓に背けば以て法律を躊躇するに足るどよりては恰も惡法を保存するに異ならず斯る風習は一日も早く除去せざる可らざるなり

ばかり要するに無制限鑄造を監
は產物の代價を高くし當米國に
加すべし此れ即ち農家の希望

時事新報廣告部（前室）
時事新報社より直送スルモノハ右定价ノ外ニ一箇月十三銭ノ
料金五十五銭。三箇月前金五十銭。六箇月前金三十
銭。一年前金六箇月前金二十銭。休刊
○時事新報社ヨリ直送ニモ近ヌモノハ右定价ノ外ニ一箇月十三銭ノ
料金五十五銭。三箇月前金五十銭。六箇月前金三十
銭。一年前金六箇月前金二十銭。休刊

行五號活字廿四字面	一日限	一日以上
一 行 二 十三 钞	六 日 週	七 日 以 上
一 行 二 十一 钞	十 钞 五 日	
本社 / 齊高 乙寸		

東京府下を始め各府縣に通信社あるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を製造するより各社同一の記事を掲ぐるふと寡からず獨り時事新報社は社員並に通官員の多きと以て新頃の社

に連絡を依頼せすと雖も世間往々此事を知らずして通
信社に於て報道すれば本社にも其報道は達する事と信
ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も寡か
らざれば本社に記事論説を寄稿せんとする方は直接に
本社に向け發送あらんとを請ふ

官審制の弊（昨日）

件も今

されば叶はざるみどりなり石炭山又は製造所などに歸ら
て間違ひあきやう判斷を爲すみどに慣れたる者にあら
ば下さんとするは多年の間しばく同様の問題に遭ふ
人を抽籤にて掣り集め來りたりとて其中より適當の人
物を得るみどは殆んど出来難きみどしる可し

る者は固より一人もある可らず、其結果は唯大に法律と事實とを混雜するに過ぎざるのみ、誠に迂闊極まりたるふと謂ふ可し。其趣は恰も病人の側に十二名の人を呼集めて病人、親屬、看護人等の口より病の容體を聞かしめたる上醫者が之に向て醫學上の講義を爲し然る後ゐる十二人を他室に移し互に評議の上にて病人の病態を斷定せしめ其斷定に基いて醫者が相當の配劑を爲すに異ならず。

に反し若くは已れの好まさる法律を輕視するふとは是なり其最も著しき例は即ち禁酒に係る法律と安息日に僅り其結果は即ち僅に一兩人の偏見の爲めに法律を廢止したるに異ならず

今若し右の如き犯罪人の審問を裁判官のみに一任し置けば假令ひ裁判官が其法律に對する個々の意見は如何あるにもせよ公然其法律を度外視するが如きとは決して爲さる可し元來裁判所が正當に法律を施行するふとを得るは其本人が各自に責任を負ひ總ての法律を尊重するが故あり然るに陪審官は己れの意に叶はざる法律とあれば蔑視して之を奉するの意あく又陪審官室は極めて秘密にするが故に陪審官各自の責任は有れども無きが如き姿を成して遇には現に法律を犯したる罪人をも理由あく解放するが如き不都合を生するみど多

黒貝なり其云ふ所は以て無制限鑄造論者之意見如何
を知るに足るべきが故に茲に其要を掲ぐ
アラート氏は近頃墨西哥に趣ひさし歸路に於てシャーマン氏の演説筆記を読み折あらば世間に向つて其岸は何事を爲すにも協同して運動せざるべからざるならば此までの成行きを以て考ふるも東部有力者の爲めに自由にさるものゝ趣あり來期の國會に於ても只だ希望する所のものは此協同の運動ありと云へり就て或る人間よて曰く農家と無制限鑄造法主張者は將來協同するふどあるべきや
答へて曰く銀貨問題に付ては農夫も亦無制限鑄造論者と同説なり故に少くも此問題のみに關しては協同する所の理由ありと申すは之に反對すれば済るべからざる災害を受くるみどあるべく彼等は充分其實を知れ

爲したるものなり法れど望に應量かず通運會社の類に托して送現金送達料は爲替金の多少に割少額あるものに對し凡そ三錢よとあるべしと

然りと雖も右の如く非常に時と金とを浪費するみどは未だ以て陪審官制の大弊事と云ふに足らず此制度の最も愚にして最も笑ふ可きは陪審官が判決を爲すときは全數の同意を要するの一事なり今才智等しき二人の者はが同じ事實の陳述を聞いて同じ斷定を下すふとの六かしさはよく人の知る所なり然らば則ち職業を務めしし習慣推して知る可し抑も其始に溯れば陪審官ある者は筆論の事實を親く承知せる人を集めたるものにて陪審官一人の如く合同して説を立しめんとするの困難あるは十二名を得れば其判決を効あるものと爲したるみどにして此規則の精神は單に證據の充分多きを要するの二點に在るのみ然るに後世に至り陪審官は必ず十二人限り此十二人の全數が同意するに非ざれば判決を爲すふと能はずと定めたるは抑も如何なる理由に基きたるもの歟今日の實際には法律を造る立法部に於ても又た法律を解釋する高等裁判所に於ても皆多數に由て事を決するの例なるに獨り證據の判決のみに限り全數の同意を要するとは誠に解し難き事共なり全數の同意を要するが爲め裁判官代理人、原被告人、陪審官、證據人等都て法廷に關係する數多の人が時を費し勞を費して折角爲し遂げたる事をも只一人の意見を以て全く無効に屬せしむるふと易し又全數の同意を要するが故に自から賄賂使用の念を發せしむるふと多し創とあれば十二人中の一人に喰はしむるは多數の人を左右するよりも容易さればあり又陪審官制の最も惡る可き弊害は陪審官が己れの利益

するに如きは豈人臣に合意相談して事を決するに似たり
頗の嫌疑全く止む可きが故あり又此法官が補任に依て
職を受ざる可らざる理由は其一政黨の爲に支配ざるも
防ぐが爲めなり斯くの如くすれば法律の施行全く政
治より分離して其弊害を受けざるふとし可し或は
此仕組を用ふるときは賄賂の増加するふとあらんとて
恐るゝ者もあらんがそは又法律を設けてよく其人の品
行を取調べ不都合の廉あるときは直に免職するの定と
爲すも宜しからん尙其上に是等の法官に充分ある報酬
を給し置けば容易に賄賂沙汰の起る恐もあらざる可し
又右の法官は餘りに世俗の境界を離れたるものあれば
事實の問題を判断するに適せらず主張する者あれども
是等の論者は今日米國の法官が大概皆賤しき身分により
次第に立身して今の地位に達したるの事實を忘れたる
とならん人生一度び法官に登庸されたればとて其曉
より忽ち我才能を失ふ者には非ず否も法官は却て尋
常の人よりも事實の判断を爲すに巧ある可し何となれど
ば在職中同様の事件に度々接する間には自から経験を
積で公平の裁決を爲すの能力を得べければあり(畢)

ステワード氏は又シャーマン氏の
何と尋ねられて曰く
予は議場に於て屢々シャーマン
ありしが故に氏は能く予の云ふ
誤謬の論を爲したり今は其の
論を爲すべく銀貨一弗の實價は
あるのみとは氏も實は知悉する所か
論じて其趣を知らしむるにも
は又此問題がデモクラット黨
あらず之を主張する者の重立
ちレバアリカン黨員多きゆと
府及び重立ちたる商賣市場の
の爲めに抱き込まれれ共吾
勝利を得るゆと疑ひなし反對
はずシャーマン氏も能はずカ
斯くの如くあるは吾人の能力
予は實際彼等に及ばざれども
ひあき所以は彼等の云ふ所誤
ばかり云々

黒貝なり其云ふ所は以て無制限鑄造論者之意見如何
を知るに足るべきが故に茲に其要を掲ぐ
アラート氏は近頃墨西哥に趣ひさし歸路に於てシャーマン氏の演説筆記を読み折あらば世間に向つて其岸は何事を爲すにも協同して運動せざるべからざるならば此までの成行きを以て考ふるも東部有力者の爲めに自由にさるものゝ趣あり來期の國會に於ても只だ希望する所のものは此協同の運動ありと云へり就て或る人間よて曰く農家と無制限鑄造法主張者は將來協同するふどあるべきや
答へて曰く銀貨問題に付ては農夫も亦無制限鑄造論者と同説なり故に少くも此問題のみに關しては協同する所の理由ありと申すは之に反對すれば済るべからざる災害を受くるみどあるべく彼等は充分其實を知れ

爲したるものなり法れど望に應量かず通運會社の類に托して送現金送達料は爲替金の多少に割少額あるものに對し凡そ三錢よとあるべしと

然りと雖も右の如く非常に時と金とを浪費するみどは未だ以て陪審官制の大弊事と云ふに足らず此制度の最も愚にして最も笑ふ可きは陪審官が判決を爲すときは全數の同意を要するの一事なり今才智等しき二人の者はが同じ事實の陳述を聞いて同じ斷定を下すふとの六かしさはよく人の知る所なり然らば則ち職業を務めしし習慣推して知る可し抑も其始に溯れば陪審官ある者は筆論の事實を親く承知せる人を集めたるものにて陪審官一人の如く合同して説を立しめんとするの困難あるは十二名を得れば其判決を効あるものと爲したるみどにして此規則の精神は單に證據の充分多きを要するの二點に在るのみ然るに後世に至り陪審官は必ず十二人限り此十二人の全數が同意するに非ざれば判決を爲すふと能はずと定めたるは抑も如何なる理由に基きたるもの歟今日の實際には法律を造る立法部に於ても又た法律を解釋する高等裁判所に於ても皆多數に由て事を決するの例なるに獨り證據の判決のみに限り全數の同意を要するとは誠に解し難き事共なり全數の同意を要するが爲め裁判官代理人、原被告人、陪審官、證據人等都て法廷に關係する數多の人が時を費し勞を費して折角爲し遂げたる事をも只一人の意見を以て全く無効に屬せしむるふと易し又全數の同意を要するが故に自から賄賂使用の念を發せしむるふと多し創とあれば十二人中の一人に喰はしむるは多數の人を左右するよりも容易さればあり又陪審官制の最も惡る可き弊害は陪審官が己れの利益

ステワード氏は又シャーマン氏の
何と尋ねられて曰く
予は議場に於て屢々シャーマン
ありしが故に氏は能く予の云ふ
誤謬の論を爲したり今は其の
論を爲すべく銀貨一弗の實價は
あるのみとは氏も實は知悉する所か
論じて其趣を知らしむるにも
は又此問題がデモクラット黨
あらず之を主張する者の重立
ちレバアリカン黨員多きゆと
府及び重立ちたる商賣市場の
の爲めに抱き込まれれ共吾
勝利を得るゆと疑ひなし反對
はずシャーマン氏も能はずカ
斯くの如くあるは吾人の能力
予は實際彼等に及ばざれども
ひあき所以は彼等の云ふ所誤
ばかり云々

黒貝なり其云ふ所は以て無制限鑄造論者之意見如何
を知るに足るべきが故に茲に其要を掲ぐ
アラート氏は近頃墨西哥に趣ひさし歸路に於てシャーマン氏の演説筆記を読み折あらば世間に向つて其岸は何事を爲すにも協同して運動せざるべからざるならば此までの成行きを以て考ふるも東部有力者の爲めに自由にさるものゝ趣あり來期の國會に於ても只だ希望する所のものは此協同の運動ありと云へり就て或る人間よて曰く農家と無制限鑄造法主張者は將來協同するふどあるべきや
答へて曰く銀貨問題に付ては農夫も亦無制限鑄造論者と同説なり故に少くも此問題のみに關しては協同する所の理由ありと申すは之に反對すれば済るべからざる災害を受くるみどあるべく彼等は充分其實を知れ

爲したるものなり法れど望に應量かず通運會社の類に托して送現金送達料は爲替金の多少に割少額あるものに對し凡そ三錢よとあるべしと

○兼業と獨立 貯蓄銀行條例修あるも資本金を分ち經濟を異にながら何れに兼業の事實あるべ行を設けても建物役員などの兼やとの觀は裏に記載せしものなての點に於て獨立營業と修正案を見るべし即ち或る銀行が其資立の貯蓄銀行を營まんとするに、あれども唯株主の定め方に至りは同じ割合を以て貯蓄銀行の株として此場合に於ては全く商法の